

- ▶ 本県では、素材生産に加え、木材加工技術や木材供給システム体制は充実しているものの、産地としての認知度や材料としての評価は、全国的に見てもまだまだ低い状況にあり、都市部の企業等の需要側から選ばれる産地づくりが課題となっている。
- ▶ このため、令和3年度は、更なる木材利用の連携強化を図るため、川崎市が主宰する川崎市木材利用促進フォーラムに、9都県市首脳会議（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市及び相模原市）を含めた24自治体が参加する行政間の情報の共有化を目的とした「行政部会」に本県も参加し、川崎市における宮崎県産材に関する取組を紹介するなど積極的なアピールを行った。

事業内容

1 都市との連携によるスギ利活用推進事業

- 都市部における木造・木質化のニーズに応える体制作りを目指し、本県の有する木材加工技術や木材供給システムをベースに、都市部の企業とのサプライチェーンを構築するとともに、川崎市の木造相談窓口との連携など、都市部におけるさらなるスギの利活用の推進を図る。

【事業費】 8,191千円（全額譲与税）

【実績】 ・スギ利活用検討会開催（リモート）

- 川崎市木材利用促進フォーラム行政部会
- 川崎市テレビ局内装木質化提案
- 川崎市楽器製作イベントへの木材提供
- 都市部に向けた新たな需要開拓として会議用長机を開発
- 川崎市の木材イベントへ出展、木のおもちゃ等展示販売



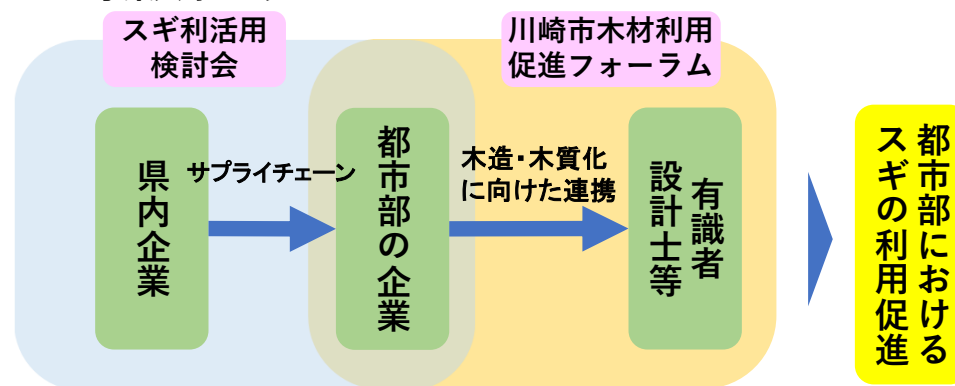
(川崎市テレビ局内装木質化)

テレビ神奈川(tvk)で放送中『LOVEかわさき』
<https://www.tvk-yokohama.com/lovekawasaki/>



(川崎市木材イベント出展)

事業スキーム



工夫・留意した点

- リモートを活用した意見交換、会議の開催
- 都市部の企業との連携による木質化の提案
- 新たな需要として、付加価値の高い商品の販売に向けた取組の支援

基礎データ

①令和3年度譲与額	173,036千円
②私有林人工林面積（※1）	230,240ha
③人口（※2）	1,069,576人
④林業就業者数（※3）	3,151人

※1：「2,020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より、
 ※3：「H27年国勢調査」より